

憲法と自治のチカラが地域の未来を切りひらく 静岡市民文化会館/パルシェ

第61回「自治体学校 IN 静岡」で学んできました



7月27日（土）と28日（日）の2日間、日本共産党市議団は静岡市で開かれた第61回自治体学校に参加してきました。

27日は台風が直撃、静岡駅に降り立った12時前後はあいにくの雨と風の悪天候。早速タクシーを拾い、初日全体会場となった静岡市民文化会館に直行。北海道から沖縄県までの全国から、地方議員や自治体職員、福祉やまちづくりなど各分野で頑張る市民団体のみなさん等たくさんの参加者で大ホールが埋め尽くされました。

12時半から始まった開会セレモニーでは、「静

岡で活動する「静岡合唱団仲間」と「川原太鼓保存会」の皆さん方による勇壮な和太鼓演奏が迎えてくれました。愛知県の歌声祭典のために創作された「あゆちの鼓動」をもとに、「憲法を太鼓で演奏してほしい」という静岡の弁護士さん達の依頼にこたえて演奏されたものだそうです。会場参加者全員で振付をしながら素晴らしい演奏に感動しました。

2日目の分科会には、橋爪、上野議員は「第8分科会：地域循環型経済と一人ひとりが輝く地域づくり」、橋本議員は「第4分科会：幼児教育・保育の無償化に対する取り組み」に参加しました。

記念講演「憲法と自治のチカラが地域の未来を切りひらく」

13時から始まった『学校』はまず、川瀬憲子学校長（静岡大学教授）の歓迎のあいさつの後、3人の方から特別発言がおこなわれました。「浜松市の水道民営化を考える市民ネットワーク」の池谷たか子事務局長が『水道事業は公営でいいじゃないか』、沖縄県元『辺野古県民投票の会』副代表の安里長従氏から『県民投票が示したもの、問いかけるもの』、高知県大川村和田知士村長からは『日本一小さな村から自治を発信する』と題して、住民の自治と平和を守るたたかひの様子が語られました。

基調講演は、

岡田知弘京都大学名誉教授（自治体問題研究所理事長）が講師を務め、「憲法と自治のチカラが地域の未来を切りひらく」と題して、話をされました。

岡田氏は2時間以上にわたって講演されましたが、1：安倍政権下における地方制度改革の歴史的文脈 2：公共サービスの産業化政策からデジファースト構造改革徹底推進 3：「自治体戦略2040構想研究会」第2次報告の概要と問題点、対立軸の鮮明化 4：地域を「活性化」「豊かに」するとはどういうことか 5：1人1人の基本的人権と福祉の向上をめざす地方自治、地域再生の対抗構想 の5点についてそれぞれ詳細に述べられました。

そのなかで岡田氏は、「地方統治論としての『自治体戦略2040構想』は地域・自治体・住民の暮らしに何をもたらすのでしょうか。安心して住みつづけられる地域をつくるにはど



うすればいいのでしょうか。すでに各地ですぐれた実践が展開されています。憲法をいかに、住民の暮らしを第一にした多様な施策を充実させること、中小企業や農林水産業の振興によって地域経済循環を大きくしていくことこそが、人口減対策にもつながり、地域の未来を切りひらきます。こうした地域と住民生活を守る自治体の役割を大きくしていきましょう」と訴えられました。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.633 2019年8月4日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)

暑い夏、上野公悦市議と熱く語り合おう！
生ビールと焼肉の集い
森ゆうに参院議員・藤野やすみ衆院議員・梅谷守氏も参加予定
※だれでも自由に参加できます
日時：8月25日（日）
午後3時から
場所：上野公悦自宅前
会費：1人1000円
飲食される人は、車での来場はご遠慮ください
送迎の必要な人はあらかじめご連絡ください
ご家族お揃いでご参加ください（子どもは無料）
★今年も「津南町特産トウモロコシ」をお世話

毎年恒例の楽しい集い！橋爪、橋本両議員も参加します